

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年1月-1回目

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

制作物や身近なものに音をつけて楽しむ。

<テーマの設定理由>

- ・普段から、身近なものでイメージを膨らませながら遊んでいるので、ICT を利用することで、子どもたちのイメージを具体化して楽しめるように考えた。
- ・「絵や写真から音が出たらどんなふうになるかな?」という子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定した。

2. 活動スケジュール

- ・2～3人で1チーム。(参加者3名)
- ・活動時間 1時間(目安)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・iPad ・Kits アプリ(おとえ)
- ・エントランスを利用して、小グループで活動できるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・制作物や園内の好きな場所の写真を撮る。
- ・「おとえ」を使って、写真や絵に音を付けていく。
- ・別のチームのお友だちが作った作品をしてみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・『おとえ』アプリの使用方法を説明し、エントランス内の好きな場所・ものの写真を撮影し、音をつけることを説明する。

・人数が少なかったため、今回は3人で1つの端末を使用した。

(子どもたちの様子)

・身の回りの物を撮影し、子どもたち同士で「この音何にする?」「この音はどう?」と相談しながら音を登録していた。

・入れる音を相談したり、順番を考えたりと相談する様子が見られた。

・実際音が出てくると、「わぁ」と驚き、「じゃあこれはどうかな?」とアイデアを出し合っていた。

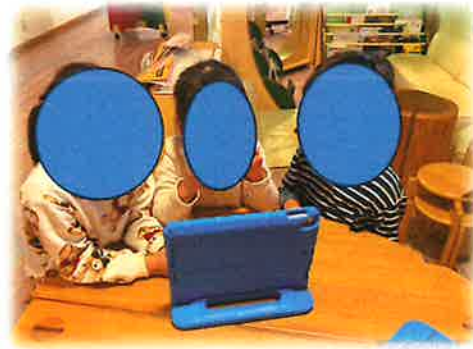
(保育者の関わり)

・前回同様、足音や、紙をクシャクシャする音、声などいろいろな音があること発見できるように紹介する。

・今回は1チームだったため、以前同じ活動をした別の子どもたちの作品も共有し、自分以外の作品を見られるようにした。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・今回は参加人数が少なかったため、お約束など大人からの話も通りやすく、スムーズに行うことが出来た。しかし、他のチームの作品の見せ合いが出来なかったため、以前行ったチームの作品を紹介し、同様の経験が出来るように考えた。

・今回の「おとえ」は、年長児クラスを数チームに分けて、チームごとにおこなったので、各チーム端末も十分に使うことが出来ていたように感じた。今後も子ども同士の関わりを繋いで行くことと、あくまで実体験を通してICTを活用していけるような活動に繋がっていききたい。また、活動によっては、もう少し大人数や異年齢での活動として利用し、ICT活用の幅を広げていきたい。